

バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】名古屋市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
25	2008.4.30			愛知県	名古屋市	2,231,727	326.45
構想の要約		民間事業者によるバイオマスのエタノール化、飼料化、堆肥化の施設整備を促進し、本市におけるバイオマスのメタン発酵の検討や焼却によるバイオマス発電等と併せて、利活用手法の質的転換を進める。これにより、ごみも資源もともに利活用し、資源循環の環づくりや脱温暖化社会へ貢献するとともに、循環型社会の体感、循環型ライフスタイルを楽しめる都市環境づくりを目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①エタノール化施設 ②飼料化施設 ③堆肥化施設 ④メタン化施設					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置：平成20年度一、中部有機リサイクル(株)、食品残さ飼料化施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

ア 廃棄物系バイオマス

エタノール発酵、飼料化、堆肥化などで事業系生ごみの約50%の利活用を行い、メタン発酵の検討や焼却によるバイオマス発電等と併せて、利活用手法の質的転換を進める。これらにより、廃棄物系バイオマスの現在の利活用率(98%)以上の利活用を図る。

イ 未利用バイオマス

もみ殻や稲わら等の農業系バイオマスについては、現在の利用状況の維持を図りながら、より有用な利活用の方法について検討を行う。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)